学校番号	４０７

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『高校世界史Ｂ　改訂版』						
副教材等	プリント教材・資料集『世界史のパビリオン』						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・物事の因果関係を意識して歴史を学習する。
・歴史的な視点、地理的な視点に立ち世界各国の情勢を理解する。
・政治、経済、社会、文化、宗教、生活などの観点から物事を多角的、多面的に考察する。
・世界の歴史と日本の歴史の関連性を意識する。

２　学習の到達目標

・歴史に関する史料、美術品、グラフ等の諸資料から物事を客観的に考察し、意見を表現する力を培う。
・各国史の知識を基にして、広い視野から世界の動きを捉える資質を養う。
・様々な観点からの歴史的事象の理解から、近代現代世界に対する多角的で柔軟な見方で考察する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近世･近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、課題追求に努めるとともに、国際社会の一員としての自覚を持ち、また、日本国民としての責務を果たそうとする。	現代の世界で生じる多様な課題を歴史的な観点から考察し、国際社会の実情や変化を踏まえ公正に判断して、歴史的事象の因果関係を適切に表現している。	近世・近現代史を中心とする世界の歴史に関するグラフ・図表・史料などの諸資料から、情報を読み取ったりまとめたりしている。	近世・近現代史を中心とした世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や歴史的な関連性や日本とのかかわりを理解し、それらの知識を定着させている。
評価方法	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 内容のまとめ	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	内陸アジア世界・東アジア世界の展開・アジア諸地域の繁栄	・トルコ化とイスラーム化 ・東アジア諸地域の自立化 ・モンゴルの大帝国 ・東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接諸地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・インド・東南アジア世界の展開	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:アジア諸地域の社会変容や、アジア諸国の改革運動・民族運動の原因や影響と後世に残る意義などに対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:アジア諸地域に見られた社会の急激な変容の具体的な様相や、欧米列強の帝国主義政策・アジア諸国の改革、民族運動が与えた現代に残る影響について多面的に考察し、その因果関係を適切に表現できる。 c:アジア諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取り意見を表現できている。 d:アジア諸地域が残した歴史的事象や影響を後世に与えた関連性などと踏まえて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	アジア諸地域の動揺・アジアの民族運動	・西アジアの変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動 ・アジア諸国の改革と民族運動	○ ○ ○	○	○ ○	○ ○		
2学期	近世ヨーロッパ世界の形成・近世ヨーロッパ世界の展開・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の独立	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・ヨーロッパ主権国家体制の形成 ・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18 世紀ヨーロッパの文化と社会 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編 ・南北アメリカの発展 ・19 世紀欧米の文化	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:近世・近代ヨーロッパの社会変革の原因や後世に残る影響と平和に対する意義に関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:20 近世・近代欧米諸国の社会について、大局的にあるいは局所的に考察し、因果関係を適切に表現している。 c:近世・近代ヨーロッパ諸国の特徴、市民革命の影響と意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり意見を表現できる。 d:近世・近代ヨーロッパ諸国の性格についての基本的な事柄を、市民革命などの社会変革の影響などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

	帝国主義と民族運動	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立	○		○	○	a:19 世紀末から 20 世紀初頭に見られた急激な社会変容や、アジア諸国の改革運動・民族運動の原因や影響と後世に残る意義などに対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:20 世紀初頭に見られた社会の急激な変容の具体的な様相や、欧米列強の帝国主義政策・アジア諸国の改革、民族運動が与えた現代に残る影響について多面的に考察し、その因果関係を適切に表現できる。 c:19 世紀以降のアジア・アフリカを中心とした世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取り意見を表現できている。 d:帝国主義という歴史的事象や影響を後世に与えた関連性などと踏まえて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
3学期	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制化の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦 ・現代文明の諸相	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a:20 世紀に入り見られた二つの世界大戦の原因や後世に残る影響と平和に対する意義に関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:20 世紀に見られた二つの世界大戦と欧米、アジア、アフリカ諸国の社会について、大局的にあるいは局所的に考察し、因果関係を適切に表現している。 c:二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両対戦の影響と世界平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり意見を表現できる。 d:二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両対戦の影響と世界平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

		・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り ・石油危機と世界経済の再編 ・社会主義世界の変容とグローバル化 ・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・現代文明の諸相	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	 ○ ○	a:米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などに対する関心を高め、第二次世界大戦後から 1960 年代までの世界の動向について追求しようとしている。 b:ソ連を筆頭とした社会主義諸国の変容について、世界のグローバル化と関連付けて、多角的・多面的に考察し、因果関係を適切に表現できる。 c:市場経済のグローバル化とアジア経済の成長に関するグラフを中心とした諸資料から、現在の世界にもつながる有用な情報を収集し、自らの意見を表現できる。 d:市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、地域基礎社会への以降、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題について理解し、その力を身につけている。	定期考査 ワークシート
	まとめ	1年間の振り返り	○	○	○	○	abcd:これまでの振り返りを行い、世界史の内容を時系列、空間的に理解できているか、また、因果関係を意識した物の考え方が定着しているか。	定期考査 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。